

中学校三年生の漢字プリント二十三 名前

【光村図書 国語3】わたしを束ねないで 一／二／漢字に親しもう6 三／二十六

(1) 金色の「稲穂」

いなほ

(14) 窮地に「陥る」

おちいる

(2) 標本箱の「昆虫」

こんちゅう

(15) 手を「携える」

たずさえる

(3) 多数決を「採る」

とる

(16) 教室が「汚い」

きたない

(4) チームの指揮を「執る」

とる

(17) 「繁栄」 || 「隆盛」

はんえい

りゅうせい

繁栄…栄えて (繁盛して) 盛んなこと。

(5) ボールを「取る」

とる

(18) 「看病」 || 「介抱」

かんびょう

かいぼう

介抱…傷病者などの世話をすること。看病。

(6) 写真を「撮る」

とる

(19) 「濃厚」 ⇕ 「希薄」

のうこう

きはく

希薄…少なく薄いこと。

(7) 事故の「防止」

ぼうし

(20) 「悲哀」 ⇕ 「歡喜」

ひあい

かんき

悲哀…悲しく哀れな気持。

(8) 進行が「妨害」

ぼうがい

(21) 獅子座「流星群」

りゅうせいぐん

(9) 事件の「核心」

かくしん

(22) 人質を「解放」

かいほう

(10) 技術「革新」が進む

かくしん

(23) 自治会の「会報誌」

かいほうし

(11) 勝利を「確信」

かくしん

(24) 「氣迫」に満ちた演技

きはく

氣迫…他に力強く働きかける精神力。

(12) 野菜を「収穫」

しゅうかく

(25) 注意を「喚起」

かんき

喚起…呼びおこすこと。

(13) 賞金を「獲得」

かくとく

(26) 部屋を「換気」

かんき

しゃみせん

(1) 「三味線」 金色の

(13) 言葉を飾ることなく率直に意見を述べるところ。ハッキリと物を言うこと。

かたず

(2) 「固唾」をのんで見守る

(14) 味方をする。 ひいきする。 肩を入れる。

せんざいいちぐう

どうなることかと緊張して思わずつばをのみ込む。

(3) 「千載一遇」のチャンス

(15) 処置に窮する。 てこずる。 もてあます。

千載一遇…めったにないよい機会であること。

じん

(4) 背水の「陣」で臨む

(16) 自分の力では及ばない。 手に負えない。 手に合わない。

一歩も退けない絶体絶命の立場で事にあたること。

■慣用句…次の慣用句の意味を答えなさい。

(17) 安心する。 ほっとする。

(5) あれこれと思案する、考えを巡らすこと。

(18) 何事も隠さず、すべてをさらけ出すこと。 本心を打ち明ける。

(6) 他人のいやな言動に不快を感じたりして表情に出すこと。

(19) 機嫌をそこねて意固地になる。 すねる。

(7) 頭の回転が早くて抜け目のないさま。非常に賢い人をいう。

(20) 後悔する。すでに取り返しのつかないことを悔やむ。

(8) 程度がひどすぎて、黙ってみていられないほどである。

(21) 他に気を移さないで落ち着いて一つの物事をする。ある場所に落ち着く。

(9) 聞くともなしに聞く。 ちらりと聞く。

(22) 人の言いまちがいや言葉じりをとらえて非難したり、からかったりする。

(10) 自慢する。得意がる。 自慢顔をする。

(23) 大切にしてお手離さないもの。 秘蔵の金品。

(11) 話しづらい。 言いづらい。 緊張して口が重い。

(24) 本当の姿、本性を隠して、おとなしい人格として振舞う。

(12) 秘密などを簡単に他人へもらさない。 言うべきでないことを他言しない。

(25) 性格や気が合う。 意気投合する。

■慣用句

次の慣用句の意味を答えなさい。

- (1) 自分の都合ばかりを考え、身勝手ですうずうしい様子のこと。

- ことわざ  
次のことわざの意味を答えなさい。

- (13) その人物や品物の質が絶対によいものであると保証すること。

- (2) 物事の果て。結局のところ。
- (14) 悪い目にあっている時、更に別の悪い目にあう事。不幸や災難が重なる事。

- (3) 見分けがつかないほど、よく似ている様子。
- (15) 年長者の豊富な経験は貴重であり、尊重すべきものだということ。

- (4) 様々な意見を一瞬にして従わせ決定する権力者もしくは権威者の一言。
- (16) 人の好みはそれぞれで、一概には言えないということ。

- (5) 物事の根拠や証拠などが全くないこと。
- (17) 手に入れていないものを当てにして、様々な計画を立てること。

- (6) 自分より能力が優れた人に対し敬意を払うこと。
- (18) 二つの事を同時に成し遂げようとしても、どちらも失敗に終わるという事。

- (7) 無駄話などをして仕事をさぼるという意味。
- (19) 人に養生を勧める医者や、自分は健康に注意しないこと。

- (8) 経験を積んで、動作や態度が地位・職業などにしっくり合う。
- (20) 人は身近なことには案外気がつかないものだということ。

- (9) その場を取り繕うためにいい加減なごまかしをして切り抜けることを指す。
- (21) 全く手ごたえがなく、ききめがないことのとたとえ。

- (10) 大したことは無いだろうと甘く見積もること。
- (22) 世の中には無慈悲な人ばかりではなく、親切な人も必ずいるということ。

- (11) 前途の見込みがないと断念する。諦める。手を引く。
- (23) 物事には時機があり、好機を逸してはならないことのとたとえ。

- (12) 激しく争うという意味。
- (24) 人は交わる友達によって、善悪どちらにも感化される。

ことわざ  
次のことわざの意味を答えなさい。

- (1) 道歩いていて見知らぬ人とすれ違うのも、前世からの因縁によるものだ。
- (2) がまん強く辛抱すれば必ず成功することのたとえ。
- (3) 強大なものが安心。頼る相手を選ぶならば力のある者が良い。
- (4) 揉め事の後は、かえって良い結果や安定した状態を保てるようになる。
- (5) 今は状況が悪くとも、あせらずに待つていれば幸運はやってくるといいう事。
- (6) つまらないものでも、ないよりはましであることのたとえ。

四字熟語  
次の四字熟語の漢字と意味を答えなさい。

- (7) 右往左往  
うおうさおう  
突然の出来事に混乱し、慌てふためくこと。  
いしんでんしん
- (8) 以心伝心  
じこうじこく  
言葉によらずに、互いの心から心に伝えること。
- (9) 自業自得  
ぜったいぜつめい  
自分でした事のむくいを自分の身に受けること。
- (10) 絶体絶命  
はんしんはんぎ  
逃げるのできない、苦境に立たされること。
- (11) 半信半疑  
ななかばは信じ、ななかばは疑うこと。

(12) 自画自賛  
じがじさん  
自分で自分のことを褒めること。  
てきごいてきしよ

(13) 適材適所  
その人の能力・性質に合う任務を与える事。  
てつとうてつび

(14) 徹頭徹尾  
最初から最後まで押し通して。どこまでも。  
しょうしんしょうめい

(15) 真正正銘  
まったく偽りがないこと。  
いちもうだじん

(16) 一網打尽  
一度に一味を全部捕らえること。  
いっしきよりようごく

(17) 一挙両得  
一つの事をする事によって二つの利益を収めること。  
きちこうしゆじ

(18) 危機一髪  
ひとつ間違えば危険に陥りそうなこと。  
しんきごうてん

(19) 心機一転  
ある事をきっかけに、気持ちがすっかり変わること。  
しくはっく

(20) 四苦八苦  
非常に苦勞すること。たいへんな苦しみ。  
しちてんぱつとう

(21) 七転八倒  
苦痛のため、のた打ち回ること。  
じゅうにんといろ

(22) 十人十色  
好み・考え・性格などが人によってそれぞれ違う事。  
せんさばんべつ

(23) 千差万別  
差異・種別が非常に多いこと。  
せんぺんばんか

(24) 千変万化  
いろいろなさまさまに変化すること。

■四字熟語

次の四字熟語の漢字と意味を答えなさい。

いくどうおん

(1) 異口同音

意見が一致すること。

きゅうたいいぜん

(2) 旧態依然

昔からのやり方を変えず進歩のない事を非難する語。

こうがんむち

(3) 厚顔無恥

厚かましくて恥知らずな様子。

しんしょうぼうだい

(4) 針小棒大

物事をおおげさに言うこと。

たんとうちよくにゅう

(5) 単刀直入

前置きや遠回りな事をせず直接に要点にはいること。

ふわらいどう

(6) 付和雷同

深い考えも持たずすぐに他人の意見に賛成すること。

いみしんちよう

(7) 意味深長

意味に深み・含みがあつて複雑なこと。

かんぜんちようあく

(8) 勸善懲悪

善を勧め、悪を懲らしめること。

じゅうおうむじん

(9) 縦横無尽

自由自在に物事を行うさま。

きようみしんしん

(10) 興味津津

興味があとからあとからわいて尽きないさま。

いんがおうほう

(11) 因果応報

やった行いに対しての報いが返ってくるという事。

こうげんれいしよく

(12) 巧言令色

言葉をうまくかざり、顔色をうまくつくろうこと。

ごりむちゅう

(13) 五里霧中

迷って方針や見込みなどの立たないこと。

ちようれいぼかい

(14) 朝令暮改

方針などが絶えず変わって定まらないこと。

たいきばんせい

(15) 大器晩成

偉人は普通より遅れて大成するということ。

ちようさんぼし

(16) 朝三暮四

ごまかす事。又、たどちらにしても大差のない事。

けいこうぎゅうご

(17) 鶏口牛後

大規模な組織の末端よりも小規模な組織の長の方が良い。

あんちゅうもさく

(18) 暗中摸索

くらやみの中で手さぐりして捜すこと。

■四字熟語

次の四字熟語の意味を答えなさい。

(19) 自分の狭い知識にとらわれてしまい、物事の大局的な判断ができないこと。

(20) 忠言は素直に聞きづらいものだが、その人のためになるといふたとえ。

(21) 小さなことを根気よく続けられれば、やがて大きなことを成し遂げられる。

いととかん

(1) 一斗缶

(14) 簡単

かつ  
「且つ」正確な検査

いっしょうびん

(2) 一升瓶

(15) 領収書の「但し」書き

いっきん

(3) 食パンを「一斤」買う

(16) いずれ「又」伺います

いちりん

(4) 「一厘」は一尺の千分の一

(17) 「法曹」とは法律を扱う専門職

いち

(5) 一の大字は「壹」

(18) 普通取引「約款」

おんしゃ

(6) 二の大字は「弐」

(19) 「恩赦」の対象となる

恩赦…国家の刑罰権を軽減させる制度。

ちん

(7) 天皇が自分の事を「朕」と言う

(20) 「寄附」を受け付ける

こうたいしひ

(8) 美しい「皇太子妃」

(21) 源氏の「嫡流」

嫡流…総本家の系統。本家の家筋。

こう

(9) 「侯」は貴族の階級のひとつ

(22) 跡取りの事を「嗣子」と言う

はくしゃく

(10) 「伯爵」夫人になる

(23) 「戸籍抄本」

ぎよくじ

(11) 「玉璽」とは皇帝の用いる印章

(24) 「窃盗」の罪を犯す

たいかんしき

(12) エリザベス二世の「戴冠式」

(25) 「誘拐」事件が起こる

しょうちよく

(13) 「詔勅」とは天皇の意思を表示する文書の総称

(26) 「名誉毀損」

(1) 〔**禁錮**〕五年の刑  
きんご

(2) 〔**少尉**〕は軍隊の階級の一つ  
しょうい  
(14) 〔**歯を矯正**〕する  
しょうさん  
きょうせい

(3) 〔**元帥**〕は軍隊の階級の一つ  
げんすい  
(15) 〔**硝酸**〕とは窒素のオキソ酸  
ばんゆう  
しょうさん

(4) 〔**耳鼻咽喉科**〕を受診する  
じびいんこうか  
(16) 〔**蛮勇**〕を振るう  
ばんゆう  
後先も考えず、大胆な行いをする。

(5) 〔**汗腺**〕からアセが出る  
かんせん  
(17) 〔**上品で貞淑**〕な女性  
じんぷいんこうか  
ていしゆく  
女性の操が堅くしとやかなこと。

(6) 〔**種痘**〕とは天然とうの予防接種  
しゅとう  
(18) 〔**愚痴**〕をこぼす  
ぐち  
ていしん  
(19) 〔**逡信**〕とは順次にとりついで  
しゅとう  
ていしん  
音信を伝えるという意

(7) 〔**赤痢**〕とは急性腸炎の一種  
せきり  
(20) 〔**一隻**〕の船  
いっせき

(8) 〔**赤ちゃんを妊娠**〕する  
にんしん  
(21) 〔**頑固な老翁**〕  
ろんこう

(9) 〔**捕虜になり拷問**〕される  
ぼろうもん  
(22) 〔**叔父**〕とは父または母の弟  
しゆくふ

(10) 〔**駐屯地**〕に派遣される  
ちゅうとんち  
(23) 〔**老婆心**〕ながら忠告する  
らうばしん  
老婆心…必要以上に世話を焼いたり気を遣うこと。

(11) 〔**戦争下で虜囚**〕となる  
りよしゅう  
(24) 〔**奴隷**〕制度のある国  
どれい

(12) 〔**盲点**〕を突く  
もうてん  
だれも気づかなかった事をさし示す。  
(25) 〔**鼻孔**〕とは鼻の穴のこと  
びこう

(13) 〔**外国製品を排斥**〕する  
はいせき  
排斥…好ましくないとしておしのけ、しりぞけること。  
(26) 〔**食糧**〕不足になる  
しょくりょう

【光村図書 国語3】資料・常用漢字について続き〜プリント三十一に続く

(1) 大雨の「**虞**」がある

虞..悪いことが起こるのではないかという心配。懸念。

(14) 政治家が「**賄**」を受け取る

賄..便宜を計らってもらったために贈る金品。

(2) 「**塚**」とは小さな山や丘や古墳

(15) 畑に「**畝**」を作る

畝..細長く直線状に土を盛り上げた所のこと。

(3) 出家して「**尼**」になる

(16) 「**賭**」をする

(4) 「**丙**」を日本ではひのえと読む

(17) 「**弥**」時代の土器

丙..十干(じっかん)の三番目の字。

(5) 「**不**」は五戒の一つ

(18) 「**瑠**」の海

不邪淫戒..不貞行為(不倫)を行ってはいけない。

だいかんみんこく

(6) 「**大**」の通称は韓国

(19) 「**刹**」とは時間の最小単位

しょうけい

(7) 西欧の絵画に「**憧**」する

憧憬..あこがれること。

(20) 「**艦**」とは海軍の戦闘用船の総称

うげん

(8) 船の右側を「**右**」という

(21) 「**儒**」の教え

儒教..孔子を始祖とする思考・信仰の体系。

(9) 昏睡状態から「**覚**」する

覚醒..目がさめること。目をさますこと。

(22) 「**囚**」は刑務所に収容される

しっそう

(10) 「**失**」者を探す

失踪..人の所在や生死が知れなくなる事。

(23) 警察官が「**殉**」する

殉職..職務中に何らかの原因で死亡すること。

(11) 「**焼**」を飲んで酔っ払う

しょうちゅう

(12) 「**妖**」の存在を信じる

ようかい

(13) 「**拉**」事件の被害者

らち

(24) 社長が「**逝**」された

逝去..「死ぬ」の敬語。なくなる事。

(25) 「**意**」なし

困難に挫けず立ち向かう気力がない人。弱虫。

(26) 「**大**」を航海する

大海原..広々とした海。大海。



中学校三年生の漢字プリント三十一 名前

【光村図書 国語3】資料・常用漢字について続き〜プリント三十二に続く

うばぐるま

(1) 乳母車 を押す

(14) 犬が 尻尾 を振る

うわつく

(2) 気持ち が 浮つく

(15) 芝生 の広場

浮つく…心が落ち着かなくなる。うかうかする。

おとめ

(3) 乙女 とは若い女性のこと

(16) 草履 を履く

おじ

(4) 叔父 は父または母の弟

(17) 住居を 立ち退く

立ち退く…その場を立ち去り、よそへ移る。

はとば

(5) 伯父 は父または母の兄

(18) 波止場 の船

波止場…旅客の乗降や貨物の積み下ろしをする大きな港。

おば

(6) 叔母 は父または母の妹

(19) 最寄り の駅に着く

もより

おば

(7) 伯母 は父または母の姉

(20) 若人 はわか者のこと

わこうど

おまわり

(8) 交番の お巡り さん

(21) 升目 をごまかす

ますめ

かわせ

(9) 為替 の相場

(22) 怪しく 光る

あやしく

升目…升ではかった量。量目。

さおとめ

(10) 早乙女 とは田植働きの女

(23) 甲乙丙丁

こうおつへいてい

物事の順序や序列を表す言葉。一、二、三、四

さつき

(11) 五月 は陰暦五月の異称

(24) めでたく 懐妊 する

かいにん

懐妊…腹に子を宿すこと。懐胎。妊娠。

さなえ

(12) 早苗 は田へ移しかえる頃の稲の苗

(25) 浄瑠璃 の物語

じょうるり

浄瑠璃…三味線で拍子を取りながら語って聴かせる物語。

しぐれ

(13) 時雨 は秋から冬にかけて降ったりやんだりする小雨

(26) 盲導犬 の訓練

もうどうけん

■国字・日本で作られた漢字

(1) 木枯らしを漢字一文字で「**凧**」  
こがらし  
浮つく・心が落ち着かなくなる。うかうかする。

(2) 一生懸命「**働**く」  
はたらく

(3) 気持ちを「**込**める」  
こめる

(4) **畑**を耕す  
はたけ

(5) **峠**を越える  
とうげ

(6) **柵**で囲む  
わく

(7) 面影を漢字一文字で「**倂**」  
おもかげ

(8) **檜**はブナ科の常緑高木  
かし

(9) **榊**は神にそなえる木  
さかき

(10) **袴**は武士の正装の一種  
かみしも

(11) **雫**が落ちる  
しずく

(12) **躰**が厳しい  
しっけ

(13) **畠**は白くかわいた田の意  
はたけ

(14) **鱒**の蒲焼き  
いわし

(15) **鱈**は淡白な白身魚  
たら

中学校三年生の漢字プリント三十三 名前

【光村図書 国語3】資料・古典・近代文学の名作

■ 次の古典・文学作品・作者名を漢字で書き、作品名とその作者を線で結びなさい。

(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
潮騒	斜陽	伊豆の踊子	山椒魚	羅生門	真鶴	草枕	舞姫	日本永代蔵	方丈記	更級日記	源氏物語	土佐日記	伊勢物語
しおさい	しゃよう	いずのおどりこ	さんしょううお	らしょうもん	まなづる	くさまくら	まいひめ	にっぽんえいたいぐら	ほうじょうき	さらしなにつき	げんじものがたり	とさにつき	いせものがたり
鴨長明	芥川龍之介	菅原孝標女	夏目漱石	紀貫之	井原西鶴	作者未詳	太宰治	川端康成	志賀直哉	紫式部	井伏鱒二	森鷗外	三島由紀夫
かものちようめい	あくたがわりゆうのすけ	すがわらのたかすえのむすめ	なつめそうせき	きのつらゆき	いはらさいかく	さくしゃみしょう	ださいおさむ	かわばたやすなり	しがなおや	むらさきしきぶ	いぶせますじ	もりおうがい	みしまゆきお